The Bluesman

取扱説明書

このたびは『The Bluesman』を選んでいただき誠にありがとうございます。
『The Bluesman』 のサウンドを十分に引き立てていただく為に、この取扱説明書をよくお読みください。

★特徴

この『The Bluesman』は、従来のオーバードライブ、ディストーションでは、決して得られなかったソウルフルなサウンドが魅力です。甘く、煌めくサウンドから、シャウトする激しさまで広い演奏性がプレイヤーを魅了します。

★サウンド

「歪み」これは、ギターにとって最大の魅力のひとつです。
『The Bluesman』は、Bulues には欠かすことができないギター本来の「音の芯」「音抜け」を失う事のない歪みです。
それは、ピッキングによって表現される音楽表現が損なわれずに、サウンドに反映さえると言う事。これは、ソウルフルな音楽には欠くことができない重要なポイントです。
そんな ” 生きたギターサウンド” では、歪んでいる事を意識することなく、演奏する事ができるでしょう。

★回路、部品

『The Bluesman』の回路は、ICを一切使用しない、新開発なオリジナルなディスクリート回路を採用しております。これは、ギター信号の大きさによって動的に倍音の構成が変化する方式であり、ピッキングニュアンスを殺さない歪みを得ることができます。
使用部品には、選別をした部品を使用し、サウンドの肝となるところにはには、” 大型コンデンサ”、” 巻き線抵抗器” など、真空管アンプを思わせる風貌です。配線材にはBelden8412芯線をベースに、WE社の単芯線の組み合わせで、パワフル且つ艶のあるサウンドを得ることができます。

各部の名称とその働き

① **インジケータ**
エフェクトのON/OFFの確認を行います。
点灯している時がエフェクトON、消灯している時がバイパスです。

② **インプットジャック**
入力です。ギター等の信号を標準プラグで接続してください。なお、インプットジャックは、電源のON/OFFも兼ねていますので、使用しない時はプラグを抜いてください。

③ **アウトプットジャック**
出力です。標準ジャックでアンプ、又はエフェクタの入力へ繋いでください。

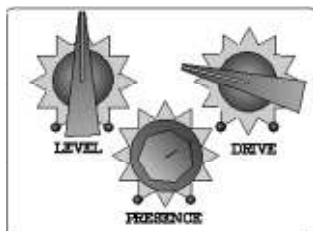
④ **DRIVE　つまみ**
歪みの深さを調節します。右に回すと深い歪みになります。

⑤ **PRESENCE　つまみ**
高音域の量を調整します。右に回すと高音域が大きくなります。

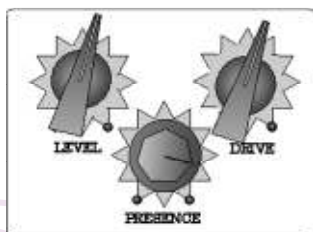
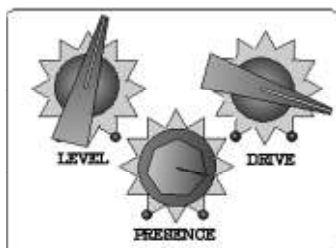
⑥ **LEVEL　つまみ**
エフェクトON時の音量を決定します。右に回すと大きくなります。

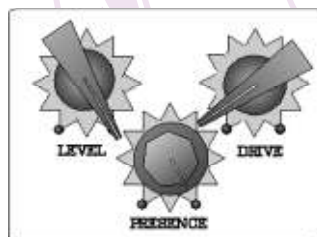
⑦ **フットスイッチ**
エフェクトのON/OFFの切り替えを行います。

⑧ **DCジャック**
外部電源の供給端子です。
ACアダプタの使用でハムノイズが出ないように回路にて対策しておりますが、外部電源を使用する際にはエフェクター用のパワーサプライのご使用をおすすめいたします。又、必ずセンターマイナス９Vのものをご使用ください。

サウンドメイキング

★クランチ
クリーンサウンドとドライブサウンドをピッキング
ニュアンスでコントロールするセッティング。
テクニカルなプレイが楽しめます。

ハーフトーンを使ったカッティングもお勧めです。

★ストレート
ストレートなR&Bサウンド。
ギター側のボリューム操作と組み合わせれば広いサウンドコントロールが可能です。
ロックンロールなコードストロークにも最適。

★ワイルド
ディープな厚みのあるドライブ。
しかしながらコードワークしっかりしているので、
激しい熱いプレイでもヌケのあるサウンド。
ギターのポテンシャルを最大限に発揮します。

★ブースター
真空管アンプ等のゲインアップを行うセッティング。
アンプのドライブ感を損なわず素直なゲインアップと
熱いサウンドが得られます。

★電池交換の仕方
電池の交換は、裏面の４つのねじを外し裏ぶたを取り外して新しい電池に交換してください。
なお、電池には必ず006P(9V角電池)をご使用ください

主な仕様

・電源　006P(9V)又はパワーサプライ（9V）
・消費電流　6mA(エフェクトON時)
・入力インピーダンス　１MΩ
・出力インピーダンス　10kΩ
・入力換算雑音　−120dBm以上
・外形寸法　120mm(W) 80mm(H) 60mm(D)(つまみ含む)

K&R　保証書	
ご芳名	
ご住所	
取扱店	
保証期間 １年	

本保証書は、本記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合には製品と本書をご持参の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。お買い上げ販売店に修理依頼できない場合は『K&R』までお問い合わせください。

http://kandr.dyndns.org
e-mail piisuke@kandr.dyndns.org